

平成
23年度

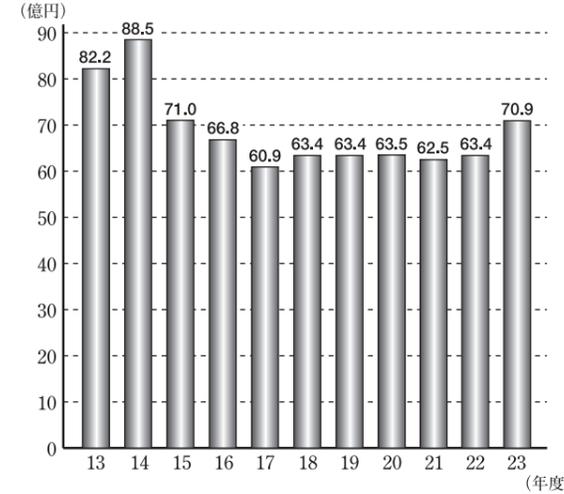
町の予算をお知らせします

未来への投資と経済立て直しを意識した一般会計当初予算 70億9,000万円の内訳

●問い合わせ先●
役場企画財政課財政係
☎482-2913 (課直通)

弟子屈町のまちづくりの基本となる平成23年度当初予算が、3月7日から3月10日まで開催された3月定例町議会で成立しました。平成23年度の一般会計の総体予算は、70億9,000万円の前年度から7億5,300万円の増となっています。これは給食センター改築や弟子屈中学校の外構整備、道営土地改良事業、戸籍の電子化などで増額があり、公債費の減額があったものの予算額全体では増額となりました。町独自の事業としては、花いっぱい推進事業や農業後継者対策事業、畑作経営安定化事業、弟子屈町観光PR事業、摩周湖環境保全対策事業、観光事業活性化補助など、少金額ながらいろいろな事業を予算化しています。5特別会計予算と1企業会計予算(表③)を含めた総予算額は97億6,462万9,000円で、前年度対比で7.7%(7億80万4,000円)の増額となっています。

一般会計当初予算額の推移

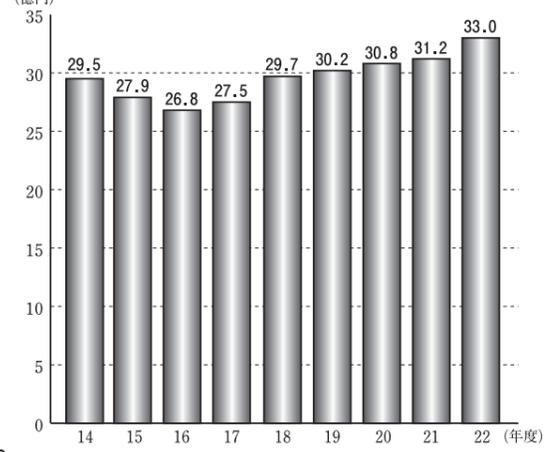


特別・企業会計予算(表③) (単位:千円)

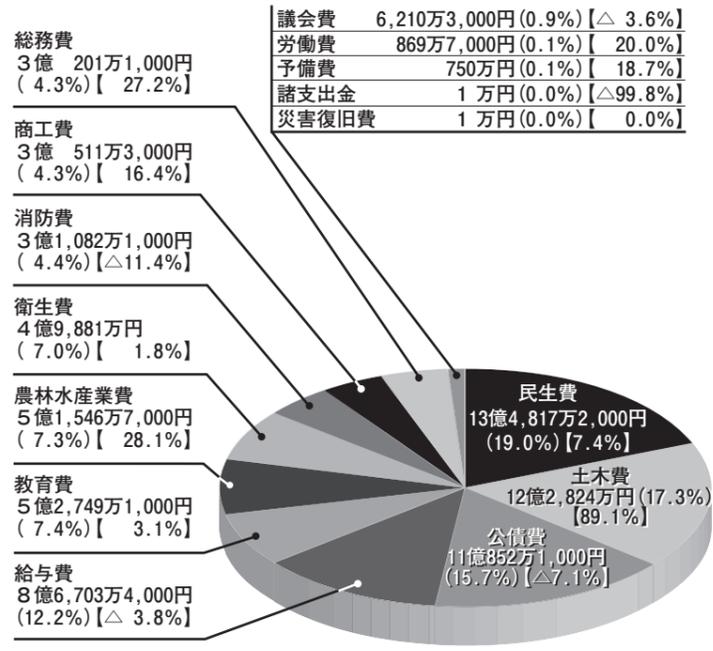
会計名	予算額	増減額	増減率(%)
国民健康保険	1,151,368	41,100	3.7
介護保険	714,019	46,957	7.0
後期高齢者医療	86,978	△ 2,097	△ 2.4
温泉事業	56,331	11	0.0
下水道事業	409,618	△131,379	△24.3
老人保健	0	△ 220	皆減
水道事業(企業)	256,315	△ 6,568	△ 2.5
合計	2,674,629	△ 52,196	△ 1.9

※増減額と増減率は前年度予算額との比較です。

普通交付税額の推移

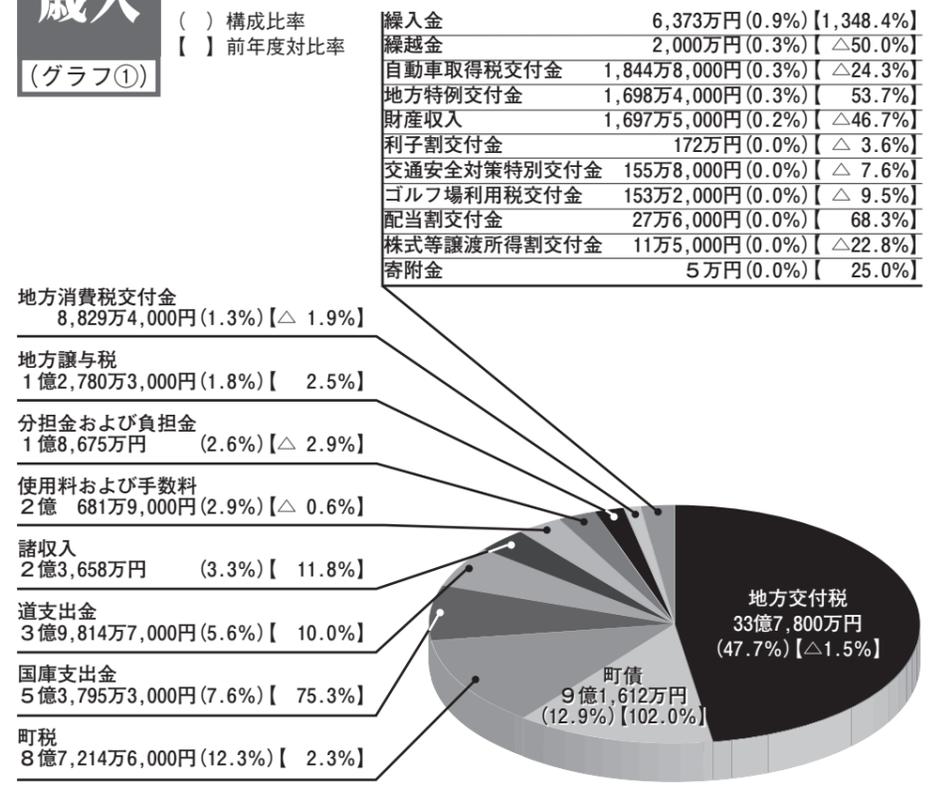


70億9,000万円 歳出 (グラフ②)



から昨年度と同様に徹底した見直しを行い、旅費・消耗品費・光熱水費などの経常経費の削減、指定管理者制度の導入、各種団体補助金の見直し削減、また、職員給与などについては、特別職給与15%削減、人事院勧告に基づく期末勤勉手当削減など人件費の削減を行っています。特別入企業会計の合計は、国民健康保険で後期高齢者支援金などの増加、介護保険では保険給付費の増加に伴い増額となりました。後期高齢者医療では後期高齢者医療広域連合納付金の減少、下水道事業では普通建設事業の減少、水道事業では営業費用の減少に伴い減額となりました。温泉事業については、前年度とほぼ同額となりました。また、昨年度末をもって老人保健特別会計は廃止されています。前年度対比では、5千219万6千円減となる26億7千462万9千円となっています。

70億9,000万円 歳入 (グラフ①)



続いて、道路や施設などの整備を行う費用である土木費の12億2千824万円で、前年度と比べて5億7千885万1千円の増となっています。これは昨年度、道の駅関連事業を補正予算で計上していましたが、今年度は給食センター改築等事業を当初予算に計上しているため大幅な増額となっています。以降、公債費、給与費、教育費、農林水産業費、衛生費、消防費などの順となっています。今年度の歳出予算も、著しい財源不足

歳入 今年度の一般会計当初予算の概要を説明します。まず歳入(グラフ①)ですが、自主財源の柱である町税は、前年度より1千939万2千円増額の8億7千214万6千円を見込んでいます。これは、景気が若干上向きになったことによる個人・法人町民税の増などによるものです。歳入予算全体の47.7%を占め

る地方交付税国から交付される資金は、33億7千800万円と前年度より5千万円の減額を見込んでいます。最終的に交付額が確定するのは7月の予定です。町の借金といえる町債は、9億1千612万円と前年度より4億6千264万3千円の増額となりました。これは、給食センター改築事業や道営土地改良事業、過疎地域自立推進特別事業分の起

歳出 次は、予算の使い道である歳出(グラフ②)ですが、構成比率が最も高いのは、民生費の13億4千817万2千円で全体の19.0%を占めており、前年度より9千282万8千円の増額となっています。これは、子ども手当と自立支援給付費などの増加によるものです。民生費とは、各種福祉サービス事業や福祉施設の維持管理、子育てに関する費用を支出する科目です。続いて、道路や施設などの整備を行う費用である土木費の12億2千824万円で、前年度と比べて5億7千885万1千円の増となっています。これは昨年度、道の駅関連事業を補正予算で計上していましたが、今年度は給食センター改築等事業を当初予算に計上しているため大幅な増額となっています。以降、公債費、給与費、教育費、農林水産業費、衛生費、消防費などの順となっています。今年度の歳出予算も、著しい財源不足

今年度の 主な仕事

大変苦しい財政状況ですが、今、何が本当に必要な事業かを見定め、各種産業基盤の整備や産業振興への取り組み、また、誰もが安心して暮らせる生活・保健・医療基盤の整備や教育施策の充実など、主なソフト事業として約2億1,886万円、またハード事業として約12億3,483万円を計上しています。



■予防接種業務(ソフト) 315万円

中学1年生～高校1年生に対して、子宮頸(けい)がんワクチン接種の助成を行います。助成は1人につき3回分で、1回当たり15,000円の助成となります。
【財源内訳】
道支出金 157万5,000円
一般財源(町の負担) 157万5,000円



■町民宿泊促進支援事業補助金(ソフト) 350万円

町内宿泊施設に宿泊する町民などの方に対して、1人当たり2,000円の助成を行います。
▶対象者例/ふるさと会会員・弟子屈に帰省中の家族・同窓会など。
【財源内訳】
地方債 350万円



■雇用対策事業(ソフト) 2,954万6,000円

補助事業・単独事業を合わせて延べ45人程度の雇用対策を行います。また、新規創業者などに対して人件費の一部を補助します。就労のための資格取得に係る教育訓練に要する入学金や登録料、受講料の一部を支援します。
【財源内訳】
道補助金 2,199万6,000円
一般財源(町の負担) 755万円



■花いっぱい運動推進事業(ソフト) 703万8,000円

花の苗の無料配布や、道の駅を中心に町内各所に花をプランターなどに植え、観光客を迎え入れます。
【財源内訳】
道支出金 483万8,000円
環境基金 200万円
一般財源(町の負担) 20万円



■環境にやさしい交通実証運行事業(ソフト) 1,127万6,000円

環境にやさしく、生活交通と観光交通が一体となった地域交通体系の構築のため、摩周駅、川湯温泉駅、川湯温泉街、屈斜路を結ぶ観光交通実証運行を実施します。
【財源内訳】
道支出金 315万5,000円
地方債 780万円
一般財源(町の負担) 31万9,000円
諸収入 2,000円



■畑作経営安定対策事業(ソフト) 695万円

気温変化に対応した新たな輪作体系の試験栽培や、優良バレイシヨの導入、摩周メロンの規格確保と品質向上、野菜などの地産地消の推進などを行うことにより、畑作経営の安定を目指します。
【財源内訳】
地方債 690万円
一般財源(町の負担) 5万円



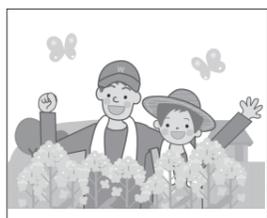
■まちづくり交付金事業(ハード) 6億2,245万8,000円

給食センターの改築や弟子屈中学校の外構、防災機能を備えた放送設備、発電設備などの整備を行います。
【財源内訳】
国庫支出金 1億9,000万円
地方債 4億2,910万円
一般財源(町の負担) 335万8,000円



■農業後継者対策事業(ソフト) 320万円

農業実習生の受け入れや専任相談員の配置を行い、農業青年の花嫁対策など農業の担い手の確保を行います。
【財源内訳】
地方債 320万円



町職員の人事異動

4月1日発令 ()内は前所属

【総務課】

▼課長補佐・弟子屈町社会福祉協議会に派遣 廣田勝彦(同課行政改革係長)▼総務係長 山本由美(出納室出納係長)▼行政改革係長 加賀一義(同課行政改革係)▼行政改革係 前川健太(保健福祉課社会福祉係)

【企画財政課】

▼課長 和田義光(老人ホーム倅和園長兼デイサービスセンター施設長)▼財政係 鈴木徹(北海道自然環境課への派遣を解く)

【税務課】

▼課長 横井明夫(議事事務局次長併監査委員事務局次長兼同監査係長)▼課税係 遠藤敬(企画財政課財政係)

【町民課】

▼衛生係 小林史和(水道課管理係)
▼保健福祉係 松岡尚之(同課長補佐兼医療保険係長)▼医療保険係長 番場新一郎(社会教育課体育振興係長)
▼医療保険係兼健康推進係 正代亨子(農林課農村整備係兼農政係)▼社会福祉係 吉田聡(デイサービスセンター庶務係)▼社会福祉係 松本尚敏(水道課下水道係)▼介護予防係 正井香(老人ホーム倅和園業務支援係兼養護生活係)

【保健福祉課】

▼保健福祉係 松岡尚之(同課長補佐兼医療保険係長)▼医療保険係長 番場新一郎(社会教育課体育振興係長)
▼医療保険係兼健康推進係 正代亨子(農林課農村整備係兼農政係)▼社会福祉係 吉田聡(デイサービスセンター庶務係)▼社会福祉係 松本尚敏(水道課下水道係)▼介護予防係 正井香(老人ホーム倅和園業務支援係兼養護生活係)

【建設課】

▼兼管理係長 赤間幸男(同課長補佐)▼管理係 小見山貴広(保健福祉課社会福祉係)
▼都市計画建築指導係長 宮古聡彦(同課建築係長)▼都市計画建築指導係兼建設係長 石島勝(同課建築係兼都市計画係)▼建築係の兼務を解く 吉田陽美(同課管理係兼建築係)▼建設係長 長谷川淳(同課建築係)

【水道課(企業)】

▼課長兼浄化センター所長 佐藤孝之(川湯支所次長兼屈斜路支所次長)▼管理係 土屋拓(総務課職員係)

【農林課】

▼課長 岩原勝行(観光商工課長兼川湯農村センター所長)▼課長補佐兼農村整備係長 中川勝明(建設課管理係長)▼農村整備係兼農政係 宮下和之(建設課管理係)

【観光商工課】

▼課長兼川湯農村センター所長 松岡友之(企画財政課長)▼施設管理係長の兼務を解く 沢木政信(同課長補佐兼施設管理係長)▼観光係長の兼務を解く 田口誠(同課長補佐兼観光係長)▼観光商工係長 奥村利之(社会教育課社会教育係長兼アイヌ民俗資料館業務係長)▼観光商工係 洪田淳二(税務課課税係)▼施設管理係長 佐藤晃(町民課衛生係)

【建設課】

▼兼管理係長 赤間幸男(同課長補佐)▼管理係 小見山貴広(保健福祉課社会福祉係)
▼都市計画建築指導係長 宮古聡彦(同課建築係長)▼都市計画建築指導係兼建設係長 石島勝(同課建築係兼都市計画係)▼建築係の兼務を解く 吉田陽美(同課管理係兼建築係)▼建設係長 長谷川淳(同課建築係)

【水道課(企業)】

▼課長兼浄化センター所長 佐藤孝之(川湯支所次長兼屈斜路支所次長)▼管理係 土屋拓(総務課職員係)

【出納室】

▼出納係長 石田好信(建設課都市計画係長)
▼次長 阿部祐三(観光商工課商工係長)

【老人ホーム倅和園】

▼園長 千田厚子(総務課長補佐兼総務係長)▼兼業務係 秋元康和(同養護支援係兼養護生活係)▼兼業務係 浦地稔(同養護支援係兼養護生活係)

【デイサービスセンター】

▼兼施設長 千田厚子(総務課長補佐兼総務係長)▼庶務係兼業務係 佐々木誠(観光商工課施設管理係)▼兼業務係 中村靖(同庶務係)

【議事事務局】

▼併事務局次長 藤林哲也(農業委員会事務局次長)

【監査委員事務局】

▼事務局次長兼監査係長 藤林哲也(農業委員会事務局次長)

【選挙管理委員会】

▼選挙係長の併職を解く 千田厚子(次長兼選挙係長)▼併選挙係長 山本由美(出納室出納係長)

【農業委員会】

▼併事務局次長 岩原勝行(観光商工課長兼川湯農村センター所長)▼次長 向正則(農林課長補佐兼農村整備係長)

【教育委員会(管理課)】

▼課長兼学校給食センター所長 後木英範(税務課長)▼学校教育係の兼務を解く 鈴木猛之(同課総務係兼学校教育係)

【社会教育課】

▼課長兼図書館長兼公民館長兼アイヌ民俗資料館長兼川湯青少年会館長兼町営プールの館長 吉備津安夫(農林課長兼農業委員会事務局次長)▼社会教育係長兼アイヌ民俗資料館業務係長 木村直樹(同課社会教育係兼アイヌ民俗資料館業務係兼公民館公民館管理係)▼体育振興係長 三上哲(保健福祉課医療保険係)

【新規採用】

▼総務課職員係 佐々木祐輝▼企画財政課環境室環境政策係 若松歩▼保健福祉課健康推進係 石間のどか

【退職など】(平成23年3月31日)

▼合田茂(水道課長兼浄化センター所長)▼永田等(管理課長兼学校給食センター所長)▼粥川豪(社会教育課長兼図書館長兼公民館長兼アイヌ民俗資料館長兼川湯青少年会館長兼町営プール館長)▼齊藤真理子(総務課総務係)▼戸崎由利恵(保健福祉課健康推進係)▼久保島康行(北海道へ帰任)

社会福祉協議会職員の人事異動

(平成23年4月1日)
▼事務局次長 廣田勝彦(役場総務課長補佐)
▼事務局次長 小林寿男(事務局次長)
▼事務局次長 小林寿男(事務局次長)
▼事務局次長 小林寿男(事務局次長)